

タグチアートコレクション展

夏フェス

スタートアート大集結!

特別企画展

SUMMER FESTIVAL
from the Taguchi Art Collection



2023.
8.10^④ - 9.10^①
鹿児島市立美術館

〒892-0853 鹿児島市城山町4-36 Tel.099-224-3400
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>

開館時間 9:30 ~ 18:00 (入館は17:30まで)
休館日 8/16(水)、21(月)、28(月)
観覧料 一般1,000円(700円)、高大生800円(500円)、
小中生600円(300円)



※()内は前売り料金及び20名以上の団体料金。
年間パスポートまたは障害者手帳提示者は同料金で観覧できます。
※所蔵品展も観覧できます。

【主催】鹿児島市立美術館、南日本新聞社、KTS鹿児島テレビ
【企画協力】タグチ現代芸術基金、アーツプラス現代芸術研究所、アート・オフィス・シオバラ

前売券

ファミリーマート(e+〈イープラス〉<https://eplus.jp>)、ローソン(ローソンチケット〈Lコード83133〉)、セブンイレブン(チケットぴあ〈Pコード686-556〉)
南日本新聞販売所、鹿児島市内プレイガイド(山形屋・生協コープかごしま各店舗・川商ホール〈鹿児島市民文化ホール〉・各画材店)

アツアツの現代アートの祭典で盛り上がり！

関連イベント

EVENT

タグチアートコレクションは、実業家・田口弘氏、娘の美和氏の二代にわたって取り組んでいる現代アートのコレクションです。1990年頃、キース・ヘリングの版画に魅せられて始まった収集は、いまや現代アートの動向を地球規模で概観するコレクションへと発展しています。

本展は、タグチアートコレクションを初めて本格的に九州で紹介するものです。650点を超えるコレクションの中から、現代を代表する国際的なアーティストの、絵画、彫刻、写真、映像など、約40点を紹介します。

洋画王国を自認する鹿児島県の当美術館は、近代日本の巨匠の作品を多数所蔵し、常設展示していますが、今回の展覧会では、現代の巨匠たちの作品をご鑑賞いただきます。

時代の特質を最も先鋭に映し出す芸術である美術作品を通して、現代を見つめなおす契機としていただけたら幸いです。



塩田 千春 《State of Being (Dress)》2013
© VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2023 C4272

記念トークショー

※要応募・無料・定員を超えた際は抽選

講師 田口 美和 氏
(アーツプラス現代芸術研究所共同代表)
塩原 将志 氏
(アート・オフィス・シオバラ)

日時 8月12日(土) 14:00-15:30
会場 かごしま近代文学館・メルヘン館地下
メルヘンホール
対象 どなたでも
定員 60人(事前申込制)

当館学芸員による記念ワークショップ アートカードで展覧会をつくろう！

※要応募・無料・定員を超えた際は抽選

日時 8月20日(日) 13:30-15:00
会場 当館地下1階 市民アトリエ(1)
対象 どなたでも
定員 32人(事前申込制)

当館学芸員によるスライドトーク 作品解説会

※応募不要・無料

日時 8月19日(土)、9月2日(土)
各回 14:00-15:00
会場 当館地下1階 講堂
対象 どなたでも
定員 60人

※各イベントの詳細や申込方法は当館ホームページをご確認ください。
※定員を超えた際は抽選となります。

特別企画展

スター大集結 夏フェス

SUMMER FESTIVAL
from the Taguchi Art Collection

ARTISTS

会田 誠/浅井 裕介/マッシュー・バーニー/ジェイク&ディノス・チャップマン/Chim↑Pom/エルムグ
リーン&ドラッグセット/キース・ヘリング/廣直高/ダミアン・ハースト/ジェニー・ホルツァー/加藤
泉/川俣 正/草間 彌生/ロイ・リキテンスタイン/宮島 達男/森村 泰昌/リチャード・モス/ザネレ・
ムホリ/ヴィック・ムニーズ/村上 隆/奈良 美智/名和 晃平/大竹 伸朗/大山エンリコイサム/オノ・
ヨーコ/ジェームス・ローゼンクイスト/トーマス・ルフ/塩田 千春/空山 基/杉本 博司/田名網 敬一/
照屋 勇賢/ジャンナイン・チェッペ/アンディ・ウォーホル(アルファベット順)



キース・ヘリング 《無題#4》1988
Keith Haring artwork © Keith Haring Foundation



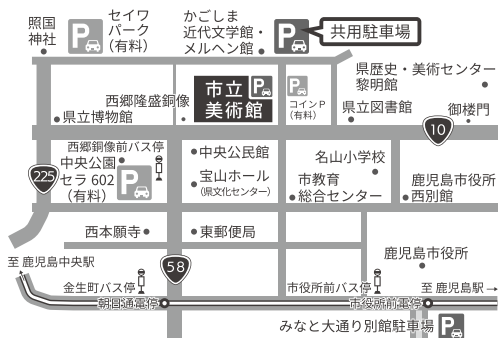
大竹 伸朗 《時徳/ナイロビ》2014-2016 © 大竹伸朗,
courtesy of Take Ninagawa, Tokyo, photo by 岡野圭



村上 隆 《黄色い麦藁帽子の女の子》2010 ©2010 Takashi
Murakami / Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

鹿児島市立美術館

〒892-0853 鹿児島市城山町4-36 Tel.099-224-3400
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>



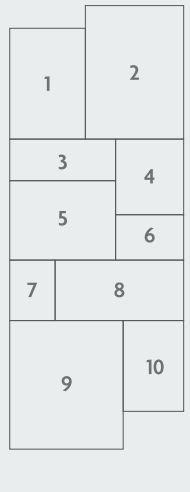
交通アクセス

- 市電「朝日通」、バス「金生町」下車徒歩5分
- カゴシマシティビューバス「西郷銅像前」下車徒歩1分
- 鹿児島北インターより車で20分
- JR鹿児島中央駅より車で10分

駐車場案内

- ※駐車可能台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 美術館駐車場 普通車6台(美術館正面向かって右側の道路沿い)
- 共用駐車場(メルヘン館隣)
普通車31台、大型バス3台(マイクロバス7台)
(無料、利用時間9:30-18:00、バスは要予約)
※駐車券を美術館1F総合案内へお持ちください。
- 周辺駐車場
・鹿児島市役所みなと大通り別館駐車場
(無料、平日8:30-19:00、土日祝9:00-19:00)
※駐車券を美術館1F総合案内へお持ちください。
・美術館周辺民間駐車場(有料、マップ参照)
・近隣施設駐車場(無料)/黎明館、近代文学館・メルヘン館
※美術館駐車場が満車の場合に限ります。長時間の駐車はお控えください。
各施設の都合によりご利用いただけない場合があります。

1. 空山 基 《Sexy Robot_Floating》
2019 ©Hajime Sorayama Courtesy of NANZUKA
2. 奈良 美智 《コスミック》2007
©YOSHITOMO NARA
3. リチャード・モス 《The Weeping Song》
2014 Courtesy the artist, Jack Shainman Gallery, New York and earlier | gebauer, Berlin / Madrid
4. ザネレ・ムホリ 《Bester I, Mayotte》
2015 ©Zanele Muholi. Courtesy of the artist and Yancey Richardson, New York.
5. 浅井 裕介 《胞子と水脈》2016
©Yusuke Asai Courtesy of ANOMALY
撮影:木奥 恵三
6. トーマス・ルフ 《Substrat 331》
2007 ©VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2023 C4272
7. ジャンナイン・チェッペ 《Xidetormis Pluralis》
2005 ©Janaina Tschäpe
8. 会田 誠 《灰色の山》2009-2011
制作協力:渡辺 篤 撮影:宮島 徑
©AIDA Makoto Courtesy of Mizuma Art Gallery
9. 名和 晃平 《Pix-Coll-Deer#51》
2018 courtesy of SCAI THE BATHHOUSE
photo:NoButada OMOTE | Sandwich
10. 田名網 敬一 《身体裝飾》2014
©Keichi Tanaami Courtesy of NANZUKA



※会場内の温度と明るさは、作品の保存に適した値まで下げています。ご理解のうえ体温調節ができる服装でのご来館をお勧めします。

切り取ってご持参ください

同時開催

夏の所蔵品展 ミニ特集 ポスターにみる
7.19(水)-9.24(日) 現代のアートとデザイン

※「タグチアートコレクション展」開催中は同展の観覧券でご覧いただけます。

SUMMER FESTIVAL
from the Taguchi Art Collection

夏フェス

スター大集結
タグチアートコレクション展

観覧割引券

本券持参の場合
当日料金より **100円割引**

※2名様まで有効。他の割引との併用は不可